

ぎんがしん月報

加古川市議会事務局

令和8年(2026年)4月1日 No.642

令和8年第1回市議会(定例会)が開催されました

第1回市議会(定例会)は、2月20日から3月24日までの33日間の日程で行われました。会期中、令和8年度一般会計予算など市長提出議案43件と、議員提出議案の会議案1件について審議され、いずれも原案のとおり承認、可決、推薦されました。

代表質問は、3月3日に各会派を代表する5人の議員によって行われ、一般質問は、3月4日及び5日に18人の議員によって行われました。

令和8年度一般会計予算を可決

市長から提出された令和8年度一般会計予算案については、本会議において所管の常任委員会に付託後、各委員会の審査を経て、3月24日に本会議で質疑及び討論の結果、賛成多数で可決されました。その主な内容は次のとおりです。

○総務費

総務管理費におけるシティプロモーション推進事業2,758万円に関連して、まちの魅力発信キャラクター「かこのちゃん」の着ぐるみの完成イメージを質問したのに対し、企画部から「マスコット風にアレンジした『かこのちゃん』のイラストを基に2.5頭身の着ぐるみを制作する予定である」との答弁がありました。

戸籍住民基本台帳費における証明書等コンビニ交付事業1,915万円に関連して、交付手数料が現行の半額となることにより期待される窓口業務に係る効果を質問したのに対し、市民協働部から「窓口での申請件数が減少すると見込んでいる。近年、申請内容等が多様化していることから窓口業務に時間がかかるケースが増えており、申請件数が減少することにより、丁寧な対応が求められる案件に注力できると考える」との答弁がありました。

○民生費

社会福祉費における地域生活支援事業の扶助費2億4,837万8,000円について、福祉タクシー料金助成事業の拡充内容を質問したのに対し、福祉部から「福祉タクシー利用券対象者がタクシー乗車時にストレッチャーを使用する場合に追加で2,000円の助成を行うもので、430回分の利用を見込んでいる」との答弁がありました。

児童福祉費における母子・父子自立支援事業の養育費確保支援補助金150万円について、制度の周知方法を質問したのに対し、こども部から「広報紙や市ホームページに掲載するほか、市民課や各市民センター、公正証書作成の窓口となる加古川公証役場にチラシを配架する予定である。加えて、家庭支援課において相談を受ける際や児童扶養手当の手續の際に制度を案内することで効果的に周知していきたいと考えている」との答弁がありました。

○衛生費

保健衛生費における産前・産後サポート事業の産婦健康診査業務委託料1,400万円について、事業内容を質問したのに対し、こども部から「出産から2週間後と1か月後の産婦に対し健

康診査を実施するもので、産後鬱のスクリーニングを行う指標であるEPDSを用いることにより、母親の身体の状態だけでなく心の状態も確認し、支援が必要な方を早期に発見することで、産後鬱や子どもへの虐待予防につながる支援を進めるものである」との答弁がありました。

再生可能エネルギー利用設備設置費補助事業の家庭用蓄電池導入補助金1,750万円の積算内容を質問したのに対し、環境部から「太陽光発電設備を設置して10年が経過した世帯を対象に、蓄電容量1キロワットアワー当たり5万円の導入補助を行うもので、上限を7キロワットアワーとし、50件分を見込んでいる」との答弁がありました。

○労働費

労働諸費における奨学金返還支援事業の中小企業人材確保奨学金返還支援事業補助金1,962万円について、制度の周知方法を質問したのに対し、産業経済部から「現在、ジョブフェアやインターンシップマッチング事業に加えて、高校の就職担当教諭との懇談の機会にPRを行っているが、来年度は新たにウェブ広告の活用を考えている」との答弁がありました。

○農林水産業費

農業費における見土呂フルーツパーク管理運営事業の見土呂フルーツパーク管理運営委託料6,928万9,000円について、再整備後、短期間で施設を改修することへの考えを質問したのに対し、産業経済部から「グランピング施設の利用が低迷しており、活況を呈する飲食事業等への影響など、施設全体のイメージ低下につながりかねないと判断し、長期の指定管理期間を見据え早期に積極的な改善策を実行する必要があると考える」との答弁がありました。

さらに委員から、グランピング施設の一部をデッキキャンプ化するメリットを質問したのに対し、「利用料金がグランピング施設の利用時と比較して安価になることから、年間の稼働率及び利用件数が約3倍になると見込んでいる。また、施設の維持管理に要する費用が抑えられる」との答弁がありました。

○土木費

都市計画費における加古川駅周辺地区まちづくり推進事業のマンホールデザイン化補修費負担金72万1,000円の内容を質問したのに対し、都市計画部から「駅周辺における回遊性向上を目的に、プリントシールを貼付したマンホールを複数箇所に設置するものであり、プリントされた2次元コードを読み取ることで、駅前のイベント情報や駅周辺再整備の取組内容、観光情報などを閲覧できる仕組みを考えている」との答弁がありました。

○消防費

消防費における火災予防事業の看板制作業務委託料190万円について、看板の設置場所を質問したのに対し、消防本部から「林野火災注意報や林野火災警報の発令対象区域の山林等に設置し、林野火災予防の注意喚起を図る予定である」との答弁がありました。

○教育費

教育総務費における部活動地域展開推進事業のかこくら地域クラブ運営支援事業補助金1,225万9,000円について、立ち上げ支援の内容と上限額を質問したのに対し、教育指導部から「地域クラブについては、会費収入が全くない状態で活動が始まることから、立ち上げに要する消耗品や備品等の購入費用を対象に、購入実績に応じて1クラブ当たり10万円を上限に補助する予定である」との答弁がありました。

議決件数

区分	専決	予算	条例	単行	契約	人事	会議案	合計
市長提出 議案	2	22	11	2	2	4		43
議員提出 議案							1	1

議決結果及び会派等の賛否一覧

◆市長提出議案

※○は賛成、×は反対。

番号	件名	結果	賛否					
			創	公	市	維	未	無
議案第1号	専決処分の承認を求めること（令和7年度加古川市一般会計補正予算（第6回））	承認	○	○	○	○	○	○
議案第2号	令和7年度加古川市一般会計補正予算（第7回）	可決	○	○	○	○	○	×
議案第3号	令和7年度加古川市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3回）	可決	○	○	○	○	○	○
議案第4号	令和7年度加古川市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第3回）	可決	○	○	○	○	○	○
議案第5号	令和7年度加古川市介護保険事業特別会計補正予算（第3回）	可決	○	○	○	○	○	○
議案第6号	令和7年度加古川市公園墓地造成事業特別会計補正予算（第2回）	可決	○	○	○	○	○	○
議案第7号	令和7年度加古川市病院事業債管理事業特別会計補正予算（第1回）	可決	○	○	○	○	○	○
議案第8号	令和7年度加古川市学校給食費管理事業特別会計補正予算（第3回）	可決	○	○	○	○	○	○
議案第9号	令和7年度加古川市財産区特別会計補正予算（第2回）	可決	○	○	○	○	○	○
議案第10号	令和7年度加古川市水道事業会計補正予算（第2回）	可決	○	○	○	○	○	○
議案第11号	令和7年度加古川市下水道事業会計補正予算（第2回）	可決	○	○	○	○	○	○
議案第12号	令和8年度加古川市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	×
議案第13号	令和8年度加古川市国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	×
議案第14号	令和8年度加古川市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	×
議案第15号	令和8年度加古川市介護保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	×
議案第16号	令和8年度加古川市公園墓地造成事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○
議案第17号	令和8年度加古川市夜間休日応急診療事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○
議案第18号	令和8年度加古川市歯科保健センター事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○
議案第19号	令和8年度加古川市病院事業債管理事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	×

番 号	件 名	結果	創	公	市	維	未	無
議案第20号	令和8年度加古川市学校給食費管理事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○
議案第21号	令和8年度加古川市財産区特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○
議案第22号	令和8年度加古川市水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	×
議案第23号	令和8年度加古川市下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	×
議案第24号	専決処分の承認を求めること（加古川市道神吉中津線A2橋台（1期）工事委託の一部変更のこと）	承認	○	○	○	○	○	○
議案第25号	加古川市加古川駅周辺再整備基金条例を定めること	可決	○	○	○	○	○	×
議案第26号	加古川市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例を定めること	可決	○	○	○	○	○	○
議案第27号	加古川市印鑑条例の一部を改正する条例を定めること	可決	○	○	○	○	○	×
議案第28号	加古川市行政手続条例の一部を改正する条例を定めること	可決	○	○	○	○	○	○
議案第29号	加古川市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を定めること	可決	○	○	○	○	○	○
議案第30号	加古川市手数料条例及び加古川市市税手数料条例の一部を改正する条例を定めること	可決	○	○	○	○	○	×
議案第31号	加古川市建築確認申請等手数料条例の一部を改正する条例を定めること	可決	○	○	○	○	○	○
議案第32号	加古川市国民健康保険条例の一部を改正する条例を定めること	可決	○	○	○	○	○	×
議案第33号	加古川市介護保険条例の一部を改正する条例を定めること	可決	○	○	○	○	○	×
議案第34号	加古川市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例を定めること	可決	○	○	○	○	○	○
議案第35号	加古川市火災予防条例の一部を改正する条例を定めること	可決	○	○	○	○	○	○
議案第36号	地方独立行政法人加古川市民病院機構第4期中期計画の認可について	可決	○	○	○	○	○	○
議案第37号	日岡山公園再整備賑わい拠点創出・管理運営事業設計・建設工事請負契約締結のこと	可決	○	○	○	○	○	○
議案第38号	加古川市道神吉中津線A2橋台（2期）工事委託のこと	可決	○	○	○	○	○	○
議案第39号	土地取得のこと	可決	○	○	○	○	○	○
議案第40号	人権擁護委員候補者推薦につき意見を求めること（稲岡 昇太氏）	推薦	○	○	○	○	○	○
議案第41号	人権擁護委員候補者推薦につき意見を求めること（兼子 圓昌氏）	推薦	○	○	○	○	○	○
議案第42号	人権擁護委員候補者推薦につき意見を求めること（杉原 良香氏）	推薦	○	○	○	○	○	○
議案第43号	人権擁護委員候補者推薦につき意見を求めること（鍋野 和己氏）	推薦	○	○	○	○	○	○

◆議員提出議案

※○は賛成、×は反対。

番 号	件 名	結果	創	公	市	維	未	無
会議案第1号	加古川市議会議員の請負の状況の公表に関する条例を定めること	可決	○	○	○	○	○	○

◆会派略称及び所属議員

令和8年3月24日現在

◆創生加古川(創)	◆公明党議員団(公)	◆かこがわ市民クラブ(市)	◆加古川維新の会(維)	◆かこがわ未来の会(未)	◆無会派(無)
岩本泰典・清水玲子・山本賢吾 藤原繁樹・東田寿啓・大野恭平 西村雅文・松本裕之・織田正樹 玉川英樹・木谷万里 中村亮太(議長)	山崎兼次・岡田妙子 桃井祥子・白石信一 小林直樹・相良大悟	井上恭子・谷 真康 渡辺征爾・稲次 誠 山本一郎	橋本 南・落合 誠 中山俊明	藤原みつえ・柘植厚人 森田俊和	※会派に属さない議員 立花俊治・橋本和彦

※原則として議長は議案の採決に加わらない。

代 表 質 問

市長の施政方針を受けて、各会派を代表する5人の議員が質問し、市長及び教育長から答弁がありました。質問議員及び質問項目は次のとおりです。

○山本 賢吾 (創生加古川)

1. 加古川駅周辺再整備について
2. JR神戸線の積極活用について
3. 訪れたい加古川河川敷について
4. 人口対策について
5. 新規施策、事業等の早期公表について
6. 市民ファーストの考えと負担の在り方について
7. 消費税法改正による影響について

○小林 直樹 (公明党議員団)

1. 将来世代を見据えた財政運営の在り方について
2. 全ての世代が安心して暮らし続けられる仕組みづくりについて
3. デジタル技術を活用した協働のまちづくりとシティプロモーション戦略、若者支援について
4. 教育施策の充実について
5. 加古川ならではの魅力づくりについて
6. 兵庫県が起債許可団体へ移行する見通しとなったことによる本市への影響について

○稲次 誠 (かこがわ市民クラブ)

1. 現状における本市の各種計画の成果と課題について
2. こども達が等しく参加できる「かこ☆くら」の展開について
3. 市長が掲げ取り組まれた「オープン&チャレンジ」の成果と新たな挑戦について

○中山 俊明 (加古川維新の会)

1. 交通安全対策について
2. シティプロモーションについて

○柘植 厚人 (かこがわ未来の会)

1. 若者支援と未来への投資について
2. 妊婦のRSウイルスワクチン接種について
3. ひとり親家庭への支援について
4. 「加古川らしい」居場所づくりについて
5. 職住近接による人口減少緩和について
6. 高齢者が「安心して暮らせるまち」の実現について

一般質問

一般質問では、18人の議員が質問に立ち、各部長から答弁がありました。質問議員及び質問項目は次のとおりです。

○落合 誠（加古川維新の会）

【一括方式】

1. ひとり親家庭への支援の充実について
2. 不登校児童生徒への支援の充実について

○清水 玲子（創生加古川）

【一括方式】

1. 子育て世代が安心して社会参画できる環境整備について
2. 公共施設のトイレの環境整備について

○藤原 繁樹（創生加古川）

【一括方式】

1. 悪臭規制と良好な生活環境の保全について

○藤原 みつえ（かこがわ未来の会）

【一括方式】

1. 保育現場における予防接種歴の把握と役割の整理について

○大野 恭平（創生加古川）

【一括方式】

1. 加古川駅周辺再整備の戦略について

○岩本 泰典（創生加古川）

【一括方式】

1. 市営住宅の現状と今後の展開について

○谷 真康（かこがわ市民クラブ）

【一括方式】

1. 行政からの郵便物の送達について

○東田 寿啓（創生加古川）

【一括方式】

1. いわゆる「ごみ屋敷」問題の解決に向けた取り組みについて

○渡辺 征爾（かこがわ市民クラブ）

【一括方式】

1. まちづくり事業の一覧作成と情報提供方法について
2. 町内会における先進的・効果的取り組み内容の共有化と申請手続きの電子化について
3. シェアサイクルについて

○木谷 万里（創生加古川）

【一括方式】

1. 介護人材不足解消に向けた取組について

○橋本 和彦（無会派）

【一括方式】

1. 播磨臨海地域道路について
2. かこ☆くらについて

○井上 恭子（かこがわ市民クラブ）

【一括方式】

1. 栄養教諭による食育の充実について
2. 災害への備えについて

○織田 正樹（創生加古川）

【一問一答方式】

1. 消防団について
2. 河川の管理と市の関わりについて

○山崎 兼次（公明党議員団）

【一括方式】

1. 感震ブレーカーの普及促進について

○立花 俊治（無会派）

【一括方式】

1. 加古川総合保健センターについて
2. 地域保健医療情報システム事業について
3. 自転車の青切符制度導入と道路整備について

○松本 裕之（創生加古川）

【一括方式】

1. 避難所に関する取り組みについて
2. 中津水足線・平野神野線・神吉中津線と公共交通（コミュニティバス）の導入について

○森田 俊和（かこがわ未来の会）

【一括方式】

1. 不登校児童生徒の現状とその保護者に対する支援について

○橋本 南（加古川維新の会）

【一括方式】

1. 持続可能な都市経営のための官民連携と民間投資を呼び込む制度構築について

視察報告

市議会の各常任委員会及び議会運営委員会では、他都市の先進的な取組を本市の市政向上に役立てることを目的に視察しています。

今月号では、議会運営委員会の視察報告書を要約のうえ掲載します。

議会運営委員会（日程：令和8年1月27日～28日） **報告者** 委員長 山本 賢吾

①大分県中津市議会「自由討議の取組について」 「意見交換会の取組について」

事業の概要

・自由討議の取組について

中津市議会は、より実効性のある議会改革に取り組むための行動指針として平成23年9月に策定した中津市議会改革マニフェストの取組として、平成23年12月議会から本会議・委員会における議員間の自由討議を実施している。本会議での自由討議については、自由討議の日程を1日設けて、議題は自由なテーマを設定し、会派当番制で提案している。1つのテーマについて討議時間は概ね50分で、提出会派による補足説明や議員1人当たりの発言時間を設定し、できる限り多くの議員が発言できるようにしている。自由討議での議論が合意形成を導く場合や、決議案の提出、特別委員会の設置などに結びつく場合もあり、テーマによって自由討議の目的は異なっている。



・意見交換会の取組について

市民の声を直接聞き議会活動に反映させるため、様々な意見交換会を実施している。中でも常任委員会においては毎年関係団体と実施しており、出された意見は一般質問や決議等につながる場合もある。また、平成28年から平成30年に各地域の公民館で、議会報告や市民からの意見・要望について意見交換を行う「市民のつどい」を実施し、その取組から見えた課題から、若い世代との意見交換会が必要と捉え、令和元年度以降は子育て世代や高校生などの若い世代との意見交換会を実施している。さらに、令和6年度から令和8年度までを実施期間として、政治を身近に感じてもらい、若い力を地域づくりに生かすことを目的に「高校生プロジェクト」を開始し、年間2校ずつ市内の高校及び特別支援学校の生徒と意見交換会を実施している。また、意見交換会実施後には議会だよりの表紙を生徒自身に作成してもらうことで、より議会に興味を持つきっかけづくりにも取り組んでいる。

視察を終えての所感

自由討議は、各議員の立場や主義・主張を尊重し、合意形成に向けた熟議の場として位置付けられており、議会を「質問の場」から「議論の場」へと進化させる有効な手法であると感じた。また、自由討議を通じて、議員同士がそれぞれの考えや知識を共有できること、個々の議員が理事者に要望する形に比べ、自由討議を経た合意形成による決議等の提出によって、議会としての意思を明確に表明できる点は、本市議会で現在進めている各常任委員会における所管事務調査の調査事項等においても参考となる取組であると感じた。

意見交換の取組については、要望型に偏りやすいという全国共通の課題を踏まえ、「要望を聞く場」ではなく「主権者教育の一環」として再定義しており、議会が将来世代と直接向き合い、その声を政策形成の過程に取り込もうとする先進的な取組であると感じた。

②大分県大分市議会「主権者教育の取組について」

事業の概要

・若年層との意見交換について

大分市議会は、若年層の政治参加意識を喚起することを目的に、平成23年度から高校、大学、専門学校の生徒・学生等を対象に意見交換を実施している。毎年各校種1校以上で実施しており、令和7年度からは学校に限定せず、若者の団体やグループ等にも対象を広げている。議員がそれぞれの学校等に出向き、基本的には特にテーマを設けずに自由な意見交換を行っており、若年層の参加が少ない市民との意見交換の補完的役割も果たしている。



・若年層に特化した議会モニター制度について

若年層の市議会に対する関心を高めるとともに、意見等を広く聴取し、議会活動等に反映させることにより、議会機能の充実及び強化を図るため、令和3年度から若年層に特化した議会モニター制度を実施している。市内の大学3校に対して、議会モニターへの協力依頼を行い、大学を通して参加者を募集する仕組みを構築している。議員が大学に出向き、制度の説明と学生との意見交換を行い、その後、学生は定例会モニタリングとして、本会議及び委員会を傍聴し、傍聴後は改めて意見交換を行っている。参加者の意見からも、学生の政治参加意識を喚起し、市議会に対する関心を深める取組となっている。

視察を終えての所感

若年層との意見交換について、グループ形式・フリートークを基本とし、身近なテーマを中心に議論しており、若者の日常的な悩みや要望を入口に、選挙に行き投票することで自分たちの生活を変えられるという実感につなげている点が印象的であった。

若年層に特化した議会モニター制度においては、若者に議会を実際に見てもらい、その上で意見や感想を聞く取組は非常に先進的であり、参考になった。意見交換においても同様であるが、若者を「将来の有権者」としてではなく、「現在の当事者」として捉えている点に大きな意義を感じた。

議会のうごき

——4月の常任委員会開催予定——

日(曜日)	日 程
4月17日(金)	総務常任委員会
20日(月)	福祉教育常任委員会
21日(火)	産業環境常任委員会
※開会時刻はいずれの日も午前9時30分の予定です。	

<発行> 加古川市議会事務局 議事総務課
 〒675-8501 加古川市加古川町北在家2000
 電話：079-427-9304・FAX：079-424-9043